

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書
【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】 関東財務局長
【提出日】 平成25年2月14日
【四半期会計期間】 第64期第3四半期(自平成24年10月1日至平成24年12月31日)
【会社名】 株式会社フジマック
【英訳名】 FUJIMAK CORPORATION
【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 熊谷 俊範
【本店の所在の場所】 東京都港区新橋五丁目14番5号
【電話番号】 03 - 3434 - 7791
【事務連絡者氏名】 経理部長 野原 国弘
【最寄りの連絡場所】 東京都港区新橋五丁目14番5号
【電話番号】 03 - 3434 - 7791
【事務連絡者氏名】 経理部長 野原 国弘
【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第63期 第3四半期 連結累計期間		第64期 第3四半期 連結累計期間		第63期	
		自 至	平成23年4月1日 平成23年12月31日	自 至	平成24年4月1日 平成24年12月31日	自 至	平成23年4月1日 平成24年3月31日
会計期間							
売上高	(千円)		20,775,485		22,515,253		30,815,663
経常利益	(千円)		715,813		1,116,023		1,531,993
四半期(当期)純利益	(千円)		319,461		704,651		923,591
四半期包括利益又は包括利益	(千円)		428,036		782,417		1,119,286
純資産額	(千円)		8,697,992		10,084,782		9,387,561
総資産額	(千円)		23,632,766		24,137,669		24,870,189
1株当たり四半期(当期) 純利益金額	(円)		48.75		107.52		140.93
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)						
自己資本比率	(%)		36.8		41.8		37.7

回次		第63期 第3四半期 連結会計期間		第64期 第3四半期 連結会計期間	
		自 至	平成23年10月1日 平成23年12月31日	自 至	平成24年10月1日 平成24年12月31日
会計期間					
1株当たり四半期純利益金額	(円)		11.12		32.54

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 経営成績の分析

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、震災復興関連需要等を背景とした緩やかな持ち直しの動きが見られ、また12月の政権交代を契機として円高修正・株価上昇の兆しが見られるなど景気回復への期待感が表れてきております。しかしながら欧州債務問題や新興国の経済成長鈍化による海外経済の減速懸念など、依然として先行きの不透明感が払拭できない状況が続いております。

当社グループ最大の得意先であるレストラン・ファストフード等の外食関連産業も、デフレの長期化や雇用・所得環境の低迷により消費者の節約志向が依然として高く、引き続き厳しい状況で推移しております。

このような情勢の下で積極的な営業活動を展開した結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は225億1千5百万円（前年同期比8.4%増）となりました。利益面では、経常利益は11億1千6百万円（前年同期比55.9%増）、四半期純利益は7億4百万円（前年同期比120.6%増）となりました。

なお、当社及び連結子会社の事業は、業務用厨房機器の製造・販売及び保守修理であり単一のセグメントであります。

(2) 財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間末の財政状態については、総資産は現預金の増加、売上債権の減少、有形固定資産の増加等の結果、前連結会計年度末比7億3千2百万円減の241億3千7百万円となりました。負債については仕入債務の減少、未払法人税等の減少等により、前連結会計年度末比14億2千9百万円減の140億5千2百万円となりました。純資産は前連結会計年度末比6億9千7百万円増の100億8千4百万円となりました。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、1億4千4百万円であり
ます。

なお、新製品開発体制の強化を図るため、平成24年7月1日をもって組織変更を行い、新たに研究開発本
部を設け、研究開発本部の下に研究開発部を設置いたしました。

(5) 従業員数

当第3四半期連結累計期間において、連結会社又は提出会社の従業員数に著しい増減はありません。

(6) 生産、受注及び販売の実績

当第3四半期連結累計期間において、生産、受注及び販売実績の著しい変動はありません。

(7) 主要な設備

当第3四半期連結累計期間において、主要な設備の著しい変動及び主要な設備の前連結会計年度末に
おける計画の著しい変更はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	25,000,000
計	25,000,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成24年12月31日)	提出日現在 発行数(株) (平成25年2月14日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	7,136,000	7,136,000	東京証券取引所 市場第二部	単元株式数100株
計	7,136,000	7,136,000		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成24年10月1日～ 平成24年12月31日		7,136,000		1,471,150		1,148,365

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成24年9月30日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成24年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 582,400		
完全議決権株式(その他)	普通株式 6,552,800	65,528	
単元未満株式	普通株式 800		一単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	7,136,000		
総株主の議決権		65,528	

【自己株式等】

平成24年12月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
株式会社フジマック	東京都港区新橋 五丁目14番5号	582,400		582,400	8.16
計		582,400		582,400	8.16

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動は、次のとおりであります。

役職の異動

新役名及び職名	旧役名及び職名	氏名	異動年月日
代表取締役社長 兼営業本部長 兼研究開発本部長	代表取締役社長 兼営業本部長	熊谷 俊範	平成24年7月1日

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成24年10月1日から平成24年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,230,020	6,829,598
受取手形及び売掛金	3 7,676,825	3 5,319,496
商品及び製品	1,580,238	2,121,641
仕掛品	71,866	133,143
原材料及び貯蔵品	1,149,703	1,188,762
その他	881,306	770,084
貸倒引当金	18,656	17,665
流動資産合計	17,571,304	16,345,062
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,627,912	2,880,375
減価償却累計額	1,993,600	2,040,196
建物及び構築物（純額）	634,311	840,178
機械装置及び運搬具	2,945,957	3,446,125
減価償却累計額	2,398,766	2,495,050
機械装置及び運搬具（純額）	547,191	951,075
土地	3,356,898	3,457,566
その他	1,327,662	1,357,561
減価償却累計額	1,184,123	1,207,500
その他（純額）	143,538	150,060
有形固定資産合計	4,681,938	5,398,881
無形固定資産	26,001	26,627
投資その他の資産		
投資有価証券	746,058	823,203
その他	2,015,934	1,703,628
貸倒引当金	171,047	159,734
投資その他の資産合計	2,590,945	2,367,097
固定資産合計	7,298,885	7,792,606
資産合計	24,870,189	24,137,669

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3 9,134,306	3 8,177,255
1年内返済予定の長期借入金	471,306	537,826
未払法人税等	458,776	66,606
賞与引当金	421,671	174,288
役員賞与引当金	10,402	11,269
製品保証引当金	87,300	75,400
その他	3 1,314,547	3 1,414,242
流動負債合計	11,898,309	10,456,888
固定負債		
社債	1,000,000	1,000,000
長期借入金	969,535	995,486
退職給付引当金	266,498	240,466
役員退職慰労引当金	308,762	323,567
その他	1,039,521	1,036,478
固定負債合計	3,584,318	3,595,998
負債合計	15,482,627	14,052,886
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,471,150	1,471,150
資本剰余金	1,148,365	1,148,365
利益剰余金	5,538,082	6,157,537
自己株式	441,299	441,299
株主資本合計	7,716,298	8,335,753
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	73,030	94,353
繰延ヘッジ損益	-	675
土地再評価差額金	1,678,479	1,678,479
為替換算調整勘定	80,245	24,479
その他の包括利益累計額合計	1,671,263	1,749,028
純資産合計	9,387,561	10,084,782
負債純資産合計	24,870,189	24,137,669

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	20,775,485	22,515,253
売上原価	14,009,852	15,228,222
売上総利益	6,765,632	7,287,031
販売費及び一般管理費	6,046,484	6,230,535
営業利益	719,148	1,056,495
営業外収益		
受取利息	1,610	3,237
受取配当金	11,456	12,046
受取手数料	41,120	34,733
受取賃貸料	13,059	21,419
その他	39,207	29,653
営業外収益合計	106,454	101,090
営業外費用		
支払利息	33,299	26,662
為替差損	29,786	-
その他	46,703	14,899
営業外費用合計	109,789	41,562
経常利益	715,813	1,116,023
特別利益		
固定資産売却益	161	214
特別利益合計	161	214
特別損失		
退職給付費用	66,386	-
固定資産除却損	3,678	4,713
投資有価証券評価損	2,697	458
その他	1,270	388
特別損失合計	74,032	5,560
税金等調整前四半期純利益	641,942	1,110,677
法人税、住民税及び事業税	249,189	298,920
法人税等調整額	73,291	107,105
法人税等合計	322,481	406,025
少数株主損益調整前四半期純利益	319,461	704,651
四半期純利益	319,461	704,651

【四半期連結包括利益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	319,461	704,651
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	24,618	21,323
繰延ヘッジ損益	4,050	675
土地再評価差額金	136,933	-
為替換算調整勘定	48,925	55,766
その他の包括利益合計	108,574	77,765
四半期包括利益	428,036	782,417
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	428,036	782,417
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

【会計方針の変更等】

当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日至平成24年12月31日)	
(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)	
当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。	
これにより、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ16,490千円増加しております。	

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

1 偶発債務

次のとおり金融機関からの借入金等に対し、債務保証を行っております。

前連結会計年度 (平成24年3月31日)		当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)	
富士マック股? 有限公司	5,560千円	富士マック股? 有限公司	5,980千円
福喜マック貿易(上海)有限公司	124,932 "	福喜マック貿易(上海)有限公司	130,264 "
計	130,492千円		136,244千円

2 手形割引高及び裏書譲渡高

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
受取手形裏書譲渡高	363千円	354千円
輸出割引手形	8,380 "	13,430 "

3 四半期連結会計期間末日満期手形及び債務のファクタリングの会計処理については、当第3四半期連結会計期間末日が金融機関の休日でしたが、満期日に決済が行われたものとして処理しております。

なお、当第3四半期連結会計期間末日満期手形及び債務のファクタリングの金額は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
受取手形	12,561千円	66,270千円
支払手形及び買掛金	905,345 "	792,441 "
その他(設備関係支払手形)	11,975 "	4,904 "

(四半期連結損益計算書関係)

注記すべき事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
減価償却費	194,209千円	272,873千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月28日 定時株主総会	普通株式	65,535	10	平成23年3月31日	平成23年6月29日	利益剰余金

当第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月28日 定時株主総会	普通株式	85,196	13	平成24年3月31日	平成24年6月29日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

当社及び連結子会社の事業は、業務用厨房機器の製造・販売及び保守修理であり、単一のセグメントであるため記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額	48円75銭	107円52銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	319,461	704,651
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	319,461	704,651
普通株式の期中平均株式数(株)	6,553,584	6,553,584

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年 2月13日

株式会社フジマック

取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員

公認会計士 原 田 誠 司 印

指定有限責任社員
業務執行社員

公認会計士 高 橋 正 伸 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社フジマックの平成24年4月1日から平成25年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(平成24年10月1日から平成24年12月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成24年4月1日から平成24年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社フジマック及び連結子会社の平成24年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。
以 上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。